

## 公表

## 事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	クレヨンルーム		
○保護者評価実施期間	令和7年11月26日 ~ 令和7年12月15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 13名	(回答者数) 13名	
○従業者評価実施期間	令和7年11月25日 ~ 令和7年12月6日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5名	(回答者数) 5名	
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月20日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・感覚器官の刺激することで、基本的動作・技能の習得や向上を促す訓練を行っていること。 ・意見を表明しやすい環境設定や、成功体験を積めるプログラムの提供をしていること。	・触覚刺激・ちぎり絵・工作（立体物）・折り紙等バランスよく取り組めるように設定している。 ・想像力、創造力を伸ばせるように提供をしている。	今後も石や木、葉など自然物を使った作品にも取り組み、広い視野で独創性を深めていく。
2	感覚統合運動を行い、発達の偏りを改善していること。 運動を通して、ルールを守ることや協調性を養うこと、他者とのコミュニケーション能力の向上を目的とした取り組みを提供していること。	教具や運動内容を工夫し、やる気や自信に繋がる取り組みを行っている。 室内ゲームも取り入れながら相手を意識して行うことをしている。	マンネリ化しないように取り組み内容に変化をつけながら、姿勢や身体バランスをとる取り組みも入れていく。
3	内容の偏り・マンネリ化しないように支援内容を組み立てている。	集団療育では工作・運動にゲーム性を加え、楽しみながら協力して取り組めるようにしている。	定期的に資料等で情報収集を行い、プログラムに変化が付くように見直しながら支援内容を組み立てていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	年齢に幅があるため、工作内容や運動内容を統一することが難しく、一律の内容でできないこと。	取り組み等のマンネリ化を防ぎ、それぞれの年齢の適した取り組みが出来るようにする。長期休業日の支援内容が充実するように、活動できる場にも変化をつけていきたい。	夏休みの活動内容は市民プールも利用し、少し距離がある公民館も利用しながら気温の変化にも対処したい。
2	保護者会を開催できず、保護者同士交流する機会が設けられていないこと。	感染症を考慮し、人の集まりをなるべく少なくするために保護者間の交流も少なくなった。	感染症が広まりやすい時期を除き、テーマを設けて保護者会を開催できるように努める。
3	放課後児童クラブや児童館等、地域の他のこどもと活動する機会がないこと。	児童クラブとの交流はなく、公民館での利用時に出会うが、一緒に活動することはできていない。	野外活動時に、他事業所や児童クラブと一緒に活動できるように検討する。